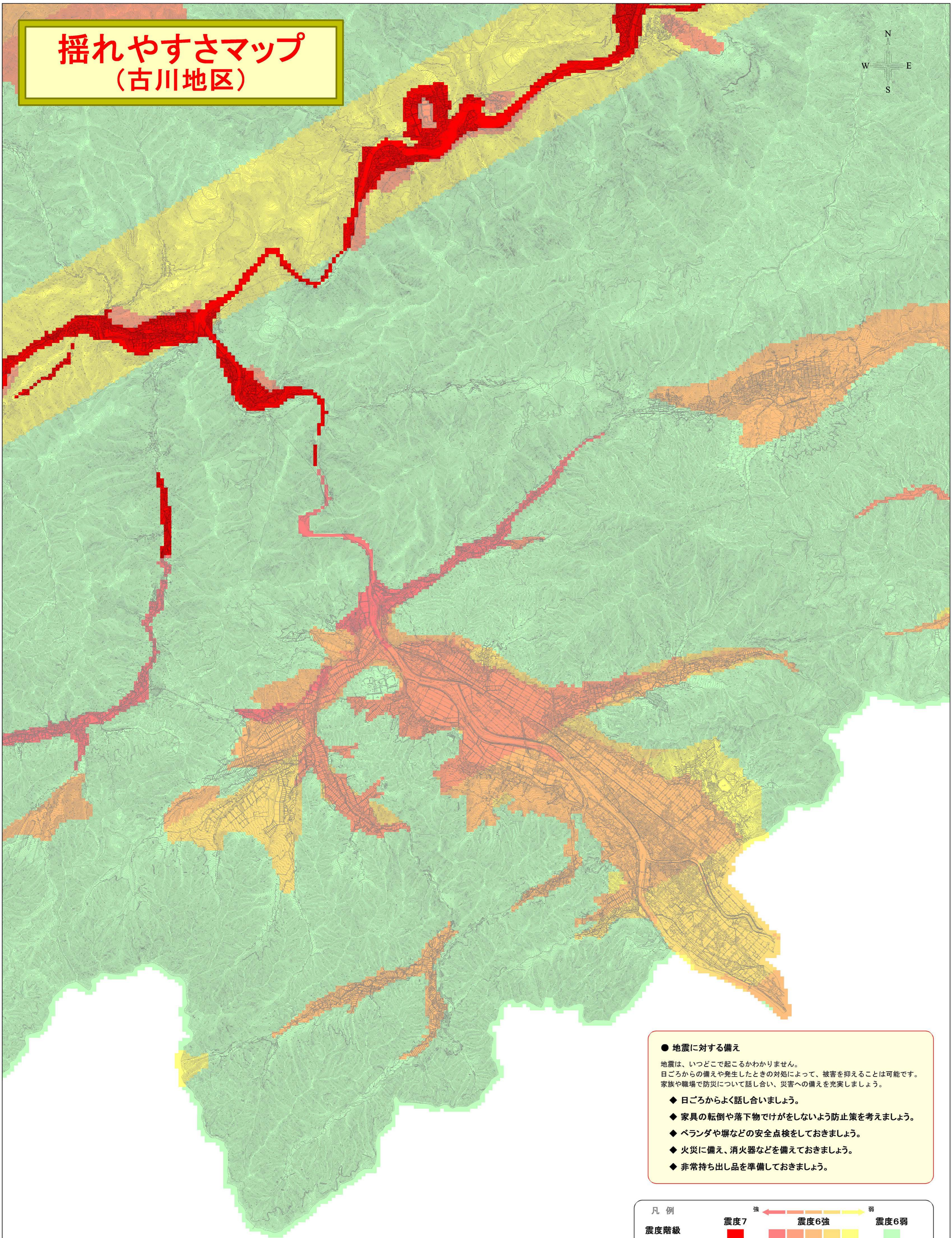
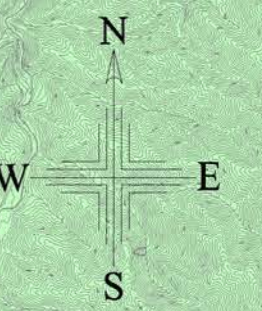


揺れやすさマップ (古川地区)



● 地震に対する備え

地震は、いつどこで起こるか分かりません。日ごろからの備えや発生したときの対処によって、被害を抑えることは可能です。家族や職場で防災について話し合い、災害への備えを充実しましょう。

- ◆ 日ごろからよく話し合しましょう。
- ◆ 家具の転倒や落下物などがをしないよう防止策を考えましょう。
- ◆ ベランダや塀などの安全点検をしておきましょう。
- ◆ 火災に備え、消火器などを備えておきましょう。
- ◆ 非常持ち出し品を準備しておきましょう。

凡例

震度階級	震度7	震度6強	震度6弱
人間	揺れにほんろうされ、自分の意思で行動できない。	立っていることができず、はわないと動くことができない。	立っていることが困難になる。
屋内の状況	固定していない家具のほとんどが移動したり倒れたりし、飛ぶこともある。	固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える。	固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることもある。
屋外の状況	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する建物がさらに多くなる。補強されているブロック塀も破損するものがある。	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する建物が多くなる。補強されていないブロック塀のほとんどが崩れる。	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。

1000 0 1000 2000 3000m